

知道 CHIDO-KAIHO 会報

71

編集 知道会広報委員会
〒310-0011 水戸市三の丸 3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人 西野虎之介
発行日 平成19年10月15日
通巻 第71号
メール chidou@world.odn.ne.jp

目次	企画	代議員制度改革, 集い担当幹事から	2
	一高だより	弓道女子, 卓球男子, 野球部の活躍など	4
	PERSON	宮田裕司氏 (水戸ホーリーホック社長)	7
	同窓会・支部だより	水中 58 会, 40 年卒至誠会など	6

会員の集いを開催します 11月10日(土)会場・水戸京成ホテル

平成19年度(第57期)「知道会会員の集い」を次のとおり開催いたします。3学年の当番制による開催も今年で6年目を迎えました。多数の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

出席される方は、同封の葉書で10月31日までに返信してください(欠席の場合は投函しないでください)。

日時/平成19年11月10日(土)
午後2時30分～5時15分

場所/水戸京成ホテル

水戸市三の丸1-4-73

電話 029-226-3111

会費/5,000円

第1部

記念講演会 午後2時30分～

講師 佐々木 健(昭51卒)

演題 「最近の大学教育について
思うこと」

東京大学新領域創成科学研究科で

教鞭を執られる佐々木氏が、日本の大学教育のあり方について現代学生のライフスタイルの紹介を交えながら語ります。

【講師のプロフィール】

佐々木 健 東京大学新領域創成科学研究科教授 (人間環境学専攻)

S51. 3月 本校卒業

S55. 3月 東大工学部卒

S57. 3月 東大大学院精密機械工学専攻修士課程修了

S57. 4月 日本電気(株)入社

S60. 7月 東京大学工学部精密機械工学科助手

H16. 8月 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授(現在に至る)
専門分野 メカトロニクス(機械, 電子, 情報を融合した技術), 生体計測など

第2部

懇親会 午後3時40分～

懇親会のアトラクションは、今年



佐々木 健氏

は地場産業の育成という意味も含め、地域に根ざしたサッカーチームであります水戸ホーリーホックの選手や関係者を招聘し、関係者の挨拶、選手による球技、試合のクライマックス部分の映像をお楽しみいただくことを計画しております。現在、水戸ホーリーホックの社長は昭和53年卒の宮田裕司氏でJ1昇格に向けて精力的に活動されております。

同日に代議員会議を開催

第18回代議員会議を次の通り開催いたします。各学年、地域、職域の代議員多数の出席のもと、会務の審議をお願いいたします。

日時/平成19年11月10日(土)

午後1時30分～2時10分

場所/水戸京成ホテル 3F

議題/第56期事業報告

第56期決算報告

会計監査報告

第57期事業計画(案)

第57期予算(案)

その他



知道会会員の集い 平成19年11月10日(土) 水戸京成ホテルで開催

友よ、集おう！

「知道会会員の集い」が3学年の当番制により開催されるようになって今年で6年目。楽しい集いにしようと汗を流す担当学年幹事から会員の皆さんへメッセージ。

S51卒 濃密な時間をともに

水戸一高を訪れても、自分たちが知っている校舎はほとんど見ることができない。薄暗い第二体育館や潇洒な図書館、合宿等で目が覚めると「至誠一貫」「堅忍力行」の書が飛び込んできた江山閣、薄暗い廊下と雨漏り寸前の教室は、もはや無い。かろうじて、第一体育館とグラウンドが残っているのみである。

建物が無くなるうとも、我らが学んだ学舎は我らが心の内にある。「無気力・無感動・無関心」の三無主義と言われた世代の我々が、佐々木健氏の講演をきっかけとして参集しようではないか。「よう！」と声をかければ、心の内にある学舎がよみがえり、濃密な時間が過ごせることを確信している。来たれ！51年卒。

文責 加茂川裕昭



加茂川氏（中央）とH8卒幹事の皆さん

S61卒 新たな絆が生まれる楽しみ

卒業から20年以上が経過した今でも、初めてお会いした方が「知道会会員」と聞いただけで、不思議と親近感がわいてきます。日常生活の中で、知らず知らずのうちに築かれていくネットワーク。水戸一高の卒業生であることがどれだけ私達の人生に影響を与えていることか…

思えば卒業以来出会った先輩方からたくさんの恩恵を受けて現在に至っています。本校卒業生の母校に対する想いはきっとどんな学校にも負けていない、そう思います。今回「知道会会員の集い」の担当学年となって、懇親会の取りまとめ役を務めさせていただく事が出来ることを誇りに思い、素晴らしい会員達の「集い」を盛大に行っていくために日々頑張っています。我々学年有志が集って打ち合わせを行う中でもまた、新たな絆が生まれています。

昭和61年卒

鯨岡則雄 下高原謙 谷津勉
阿久井哲 宮崎真三 桜井孝宏
中山卓也 滑川敏正 塩谷和宏
永井昭夫 白石嘉亮

H8卒 それぞれの道がここに

三十路にいよいよ突入する平成8年卒のみなさん！お元気ですか？

昨年の「夜のピクニック」や今年の高校野球茨城県大会での大健闘と、母校が盛り上がっていくのはうれしいものです。そんなニュースを耳にして、久々に高校時代の思い出を紐解いた方も少なくなかったのではないのでしょうか。卒業から10年余。それぞれの進路を進み、それぞれの人生を精一杯生きている同級生の皆さんに再び会いたくなりました。今年には知道会の幹事学年ということで、先輩の指導を頂きながらお手伝いをしています。母校からしばらく足が遠のいてしまっている皆さんも、せっかくの機会！是非、顔を見せてください。

神永（旧姓：坏）聡美 川崎篤之



S61 卒幹事の皆さん

130周年記念事業について Q & A

平成20年は母校創立130年の節目の年。前号で紹介した記念事業の進捗状況をお知らせします。また、事業は資金の裏づけが大事です。卒業生の皆さんには引き続き資金面でのご協力をお願いします。

Q モニュメント制作の進捗は…

A 7月中旬に、西野会長と130周年事業委員、水戸一高五味田校長、小田倉教頭が制作者の日本芸術院会員 能島先生のアトリエを訪問、進行中の「モニュメント」を見学してきました。制作は、実物大の石膏像が完成し、大きな一段階を終了していました。先生からは、130周

年記念式典の1カ月前には完成するであろうとのお話がありました。

Q 130周年記念式典は…

A 記念式典は平成20年11月22日に県民文化センターで開催されます。記念式典と講演の2部構成で行われる予定です。記念講演は、日立製作所フェロー・神原秀記氏（S38卒）にお願いし、内諾をいただきました。ヒトゲノム解読の国際プロジェクト遂行に大きな貢献を果たしたといわれるDNAシーケンサ開発責任者としての体験と、現役高校生に対する夢の実現などについてご講演いただく予定です。

校内記念事業準備委員会 鈴木悦男



細部が見えてきた石膏像

Q 寄付金の状況は…

A 130周年事業の実施にあたり、会員各位から多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。

募金につきましてはこの7月よりお願いして3カ月になりました。その間1,909

代議員制度改革に向けて

知道会組織の根幹をなすのは学年・地域・職域の代議員です。

来年度母校創立130周年を迎えるにあたり、知道会の組織強化を図るためには代議員の積極的な活動が不可欠となっており、代議員制度をいかに有効に機能させていくかが今後の課題となっています。

総務委員会では去る9月12日に委員会を開催し、「代議員制度のあり方、改善策について」をテーマとして活発な議論を交わしましたので、以下に概要を紹介します。

・・・・・・・・・・・・・・・・

今回特に議論となったのは、学年代議員の活動についてです。

学年代議員については、これまでも代議員会議への出席率が悪い、代議員の役割が不明確、さらにはそもそも会員が自らの学年代議員を知らないといった問題点が挙げられていました。

学年代議員が代議員会議に出席しないと、学年の会員の意見が届かなくなるばかりでなく、会の運営方針や活動内容が学年の会員に伝わりにくくなり、結果として会自体の活力の低下に繋がります。



学年、地域、職域の代議員が熱心に審議

このような状況を受け、今回の委員会でとりまとめた対策は次のとおりです。

- (1) 代議員は必ず代議員会議に出席することとし、やむを得ず欠席する場合は必ず代理人を立てる。
- (2) 代議員会議に出席のなかった代議員に対しては、次回必ず出席するよう、文書により依頼する。
- さらに出席のなかった場合は、事務局より代議員の交代をお願いする。
- (3) 卒業時に決まった代議員に対しては、事務局から代議員の役割等について十分説明し、理解を促す。
- (4) 学年代議員に対しては数年に一度（少なくとも5年に1回）、今後代議員として活動を継続していくことは可能か、変更が必要かを検討する。
- (5) 5年ごとに発行する卒業生名

簿に「代議員」欄を新設し周知を図るとともに、名簿発行に合わせて見直しを行う。

(6) 名簿発行までの各年度について、「知道会報」発行時に代議員名簿を別紙で折り込むことで周知を図る。

総務委員会では今後もこうした検討を重ねたうえで改善策をまとめ、代議員会議への提案を予定しています。

代議員は知道会最高の意思決定機関である代議員会議の構成員であり、知道会に対する各学年、地域、職場の会員の意見、意向を代議員会議に繋ぎ、会の運営に反映させていく役割を担っており、知道会の活性化は代議員の活動如何にかかっています。

現在代議員になられている各位におかれましては、今後とも積極的な活動をお願いいたします。

人の会員から計17,846,000円ものご協力をいただいたところです。

しかしながら、目標額の3,000万円までにはまだ遠く及んでおりませんことから、今後とも関係各位のご厚意をいただきながら、来年秋の事業実施に向け、達成目指して取り組んでまいります。

既に統計も出ていますので、これからの参考にしたいと思います。募金状況には、学年によりばらつきが見られますことから、今後は各学年の代議員や代表幹事からの働きかけが重要と思われます。特に、現在20代、30代の会員からの募金について、ご事情はおありかと思いますが、一層のご協力の程、何卒よろしくごお願いいたします。

なお、募集の締め切りは、来年の11月です。

速報

9月30日にミニ歩く会を実施

親睦委員会の今年度3つ目の行事である「第4回OBミニ歩く会」が9月30日実施されました。朝から雨が降り生憎の天候でしたが、集合場所の笠間芸術の森公園広場には80余名の方々が集まり、「雨もまた自然」の心境で、県ウォーキング協会副会長の川上清氏（昭29卒）を先頭に元気に出発しました。公園内の広い散策ロードを巡り、笠間市内から10mの巨大花瓶が立ち並ぶ製陶ふくだへ、その後ジャージー牛が放牧されている前川農場を経由して芸術の森公園へ戻るコースでした。製陶ふくださんではたくさんの笠間焼をご提供いただき大抽選会を開催、



前川牧場さんではジャージー牛乳とジャージー牛乳から作った飴を堪能させていただきました。福田社長（昭27卒）・前川社長ほんとうにありがとうございました。とうとう最後まで止むことがなかった雨でしたが、全員が無事ゴールすることができました。ゴールでお稲荷さんのお弁当と完歩バッジを受け取り、解散となりました。雨の歩く会、心に残る行事となりました。 親睦委員会 小林 記

一高だより

EVENTS

6月

- 9日 常陽知協会
- 15日 県庁知協会
- 17日 ボクシング部OB会
- 20日 東海村知協会
- 23日 岩間知協会

7月

- 7日 土浦水中一高会
- 10日 水戸知協会総会
- 14日 バスケット部誌記念誌発刊祝賀会
- 27日 水戸みつば知協会納涼会
- 29日 鹿行知協会

8月

- 11日 42年卒(卒業40周年)同窓会
- 16日 下市知協会納涼会
- 25日 水戸新荘知協会

9月

- 8日 40年卒(至誠会)同窓会
- 8日 那珂知協会
- 9日 常陸太田知協会

卓球部男子ダブルス インターハイ出場

卓球部は昨年、団体の部で関東大会初出場を果たしたが、今年も5月の県予選会で男子団体の部で第3位に入賞し、関東大会(東京都)に2年連続出場を達成した。さらに、ダブルスで杉朋幸(32組)・小野瀬慎二(21組)、シングルスで小野瀬慎二(21組)が出場を決めるなど大活躍した。

そして、杉・小野瀬のペアはその後にも躍進し、全国高校総体(インターハイ)県予選で優勝し、佐賀県で行われた本大会に出場した。

弓道部女子 インターハイベスト16

本校弓道部は本年、過去最高の成績を残した。まず女子が佐賀県で行われた全国高校総体(インターハイ)に出場し、全国の強豪を退け、ベスト16まで進出した。予選は48チーム中26番目で通過し、翌日の決勝トーナメント1回戦は奈良北高と13対13で同点となり、延長戦(射詰(「いづめ」という。))で4対0で勝利した。2回戦は上野商高(三重県)と対戦し13対10で惜敗し、ベスト16になった。選手は、最初に射る「大前」に鬼澤英里(36組)、2番目の「二的」に和知茜(27組)、3番目の「中」に熊木仁美(36組)、4番目の「落前」に富田遥香(27

組)、最後の「落」は大森園子(36組)という5人であった。もう少しのところでもっと上位に進出できた、という悔しさと、よく健闘したという満足感が入り交じっています、と彼女たちは話していた。

一方、男子は、関東大会県予選で団体3位に入賞し、関東大会(さいたま市)に出場した。2年連続の出場であった。男女とも高い技量を有しており、今後益々の健闘を期待したい。

野球部大活躍 全校応援で盛り上がる

夏の全国高校野球県大会は7月7日(土)に開会式が行われ、本校は7月10日(火)に1回戦に臨んだ。相手は佐和高。全校応援の甲斐があり5対3で勝利し、幸先良いスタートを切った。2回戦はシード校の那珂湊一高と戦った。これまた全校応援で7対3で勝利。3回戦は鬼怒商高と対戦し、5対4で勝利した。いよいよ甲子園が見えてきたか、という思いが頭の隅を横切った。4回戦は竜ヶ崎一高と対戦したが、2対3で惜敗した。野球部の活躍により学校に活気があふれていた。

全国高校総合文化祭出場 棋道部、書道部、写真部、放送委員会

今年の全国高校総合文化祭は島根県松江市を中心に7/29～8/2の日程で行われ、18部門に全国から選抜された高校生が参加した。本校からは棋道、書道、写真の3部と放送委員会が出場した。

棋道部から池島純(31組)が将棋個人の部に出場した。予選は2勝2敗になり、決勝トーナメントには進出できなかったが、全国の強豪相手に水戸一高の名を轟かせた。

書道部の上田智大(24組)の書は高く評価され、感動を与えた。また上田は開会式に茨城県参加者の代表をつとめ、茨城県をPRした。

写真部の高野英江(34組)は「Line」という作品を出品し、好評を博した。

放送委員会からはアナウンス部門

新刊紹介

知協会事務局に寄せられた本校出身者・関係者の著作を紹介

瀕死の医療

PHP研究所
1,400円(税別)
大津秀一 著
(平6卒)



緩和医療の現状を紹介した「死学」(前号紹介)に続く大津氏の第2作目。抗がん剤治療や延命医療に汲々とする日本の現代医療を「末期がん」症状と断じ、人間のための本当の医療改革に向けた処方箋を提示するとともに、安らかな終末を迎えるために我々はどう医療と向き合うのかを説く。

古代常陸を解く

一常陸と蝦夷—
金砂大田薬研究会
1,000円(税別)
井坂 攻 著
(昭35卒)



コンピュータネットワークの専門技術者が一転して古代史の謎解きに挑戦した著作。本県古代史の膨大な文献を渉猟し、大和勢力の蝦夷征討と常陸国成立の関連について論証しながら、蝦夷征討に由来するといわれる金砂神社の開基や72年に1回開催される金砂大田薬の歴史を紹介している。



インターハイで活躍の弓道部女子

に中根里沙（38組）が出場し、爽やかなアナウンスを披露した。このように、本校の文化部は運動部に劣らず、この夏は大活躍をした。

水泳部 関東大会・ジュニアオリンピック・国体出場

本校にプールはないが、スイミングクラブで水泳を続けている生徒が毎年入学してくるので水泳部を設け、活動を支援している。7/25～27に東京で行われた関東大会に清水一利（14組）が100m・200m背泳、前道一貴（17組）が200mバタフライ、梁瀬真以（23組）が200m・400m個人メドレーに出場した。梁瀬は昨年引き続き2年連続であった。清水は8月末のJOCジュニアオリンピックに続き、9/28～10/3秋田で行われる国体に200m背泳、400mメドレーへの出場が決まった。

クイズ研究会 高校生クイズ選手権準決勝進出

今年の全国高校生クイズ選手権に本校クイ研の3名が出場し、予選を突破し、準決勝まで進出した。全国大会は8月に行われ、その模様は9月7日の日本テレビで放映された。9月8日から始まった学苑祭では、前日に放映されたこともあり、クイ研のコーナーに多くの人が詰めかけ、賑わいを見せていた。

これらの他、陸上部、山岳部、水泳部が関東大会に、放送委員会からNHK放送コンテストにアナウンス部門で2名が出場した。

本校では間もなく最大行事の「歩く会」が行われる。その後は大きな行事もなく、本業である学習に集中していくことになる。3年生は本番間近であり、本校で学んだものを結集し、目標を達成して、文武両道を示してくれるものと期待している。

PERSON

地域の誇りとなるクラブを

フットボールクラブ水戸ホーリーホック
代表取締役社長 宮田 裕司 氏



サッカーJ2リーグで水戸をホームタウンとして戦っているホーリーホック。そのチームを運営するクラブの新社長として、今年4月、宮田裕司氏（昭53卒）が就任した。サッカーを通してまちを元気にしようと取り組む宮田社長に話を伺った。

—ホーリーホックとのかかわりはどういうところから？

宮田 以前から“まちづくり”に興味があり、青年会議所で活動した仲間たちとNPOを立ち上げようとしていたとき、5年前ですが、ホーリーホックの経営危機が騒がれました。Jリーグからの脱退を迫られるまでの状況に、水戸の宝であるチームを支援しようと、NPOとして署名活動を行いました。その後、資金的な支援を目的に設立した「持株会」に役員として加わり、この春に代表を引き受けることになりました。

—サッカーはやっていたんですか？

宮田 高校時代サッカー部でした。教室に行くよりも部室に直行するような生活で、県大会3位にまでなりました。水商や古河には公式戦では勝てませんでしたが…

—卒業後に禅寺で修業されたとか？

宮田 哲学を学ぼうと京都大を目指して浪人中に、“禅”に興味を持つようになりました。そこで坐禅を体験してみようと入門したのが龍安寺でした。数日間のつもりで入ったのですが、そこで“老師”と呼ばれる住職から教えを受けながら、いつのまにか4年間も修行をする結果となりました。そのときの経験は大きな財産となっています。宗教家になろうかとも考えましたが、やはりここで学んだことを実社会の中で生かす、まちを楽しく元気にするものを見出していこうと思い、活動しているのです。

—現在、ホーリーホックの成績は振るいませんが目標は？

宮田 厳しいですね。まずはチームの強化ですが、それには地元の若手を育てていきたい。茨城県下の選手がチームの半数を占めるよう、下部の育成を進めていきたいと思えます。また2年後には、ホームスタジアムとして水戸市立競技場の改修が完成するので、これが追い風になるでしょう。さらに資金力をつけ、予算規模も拡大して5年後にJ1を目指そうと考えています。

—在校生、卒業生の皆さんに一言を。

宮田 水戸ホーリーホックは、市民クラブとして地域の元気の源泉になろうと頑張っています。ぜひスタジアムに足を運んで応援してください。また、経営面でのアドバイスなどご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

【宮田裕司（みやたひろし）氏】

- 1959 水戸市生まれ
- 1978 水戸一高卒
- 1980 龍安寺大珠禅院入門
- 1984 (有) アプティック入社
- 1989 金木屋材木店入社 専務
- 2002 NPO法人韋駄天設立代表理事
- 2003 水戸ホーリーホック支援持株会副理事長
- 2006 水戸ホーリーホック取締役
- 2007 水戸ホーリーホック代表取締役

水中58会卒業70周年同窓会

私どもは昭和12年水中第58回卒業で、学び舎を去って70周年を迎えた。年齢は87歳以上、間もなく90歳に届く友もいる。卒業時に175名だった同窓も、現在は43名を数えるのみである。

さて、同窓会は東京と水戸で年2回開催していたが、4年前東京は解散。水戸は20年余大洗1泊で開催してきたが、一昨年より水戸市内にての昼食会に替えた。

今回は去る5月13日水戸市内中川楼本店にて開催。出席者12名。65周年時には出席者は20名に及んだものだったが、年齢には逆らえない。県内8名、県外5名。立川市から介護人附添で出席された者もあり、感激一入。顔をあわせれば、5年間の中学時代の思い出話や近況について早速語り合う。酒量は減っても話は尽きることなし。その輪が広がること2時間。懐かしい校歌を斉唱して幕を閉じた。

なお、当日懇親会に先立ち協議した諸事項中に次の項目あり。

○70周年を記念して母校または知道会に繰越金の中から若干を寄附してはいかが。額は幹事に一任。

これについては、5月29日に北條知道会事務局長立会いのもと、母校の校長室にて五味田校長に10万円を贈呈した次第です。

(幹事 三田寺泰男)

40年卒至誠会還暦記念同窓会

9月8日(土)、台風一過のもと、森田稔君の手配で大洗鹿島線に2両の特別車両を連結し、ゆったりとした座席で寛ぎながら、沿線風景を楽しむ。鹿島神宮では宮司の鹿島則良君が出迎え、一同揃って拝殿に上がり神妙にお払いを受ける。

夜の部、地方職員共済人気No.1のオーシャンビュー大洗では、支配人の野上公雄君がサービスの陣頭に立つ。夜7時山野隆夫君の軽妙な司会で84名参集の同窓会がスタート。会長板橋義則君の挨拶、大曾根文彦君の乾杯の音頭で還暦を祝い、旧交を温める。

途中、母校教員の兼田昭一君、各地で議員として活躍の中庭次男君、安雄三君、金子誉夫君、また前県教育委員長の石渡千恵子君から近況報告がある。

いつ果てるとも知れない宴も、大須賀潔君、会沢洋輔君、照沼郁実君のリードで校歌を斉唱し、司会の山野君の「ああ栄冠は君に輝く一山野バージョン」で無事終了する。

文責 金沢正巳 西野晋哉



鹿島神宮で開催された40年卒至誠会

常陸太田知道会

9月9日、J A茨城みずほ太田支店「まいづる」で会員数65名中36名、知道会より副幹事長栗原英則氏と鯉淵俊郎氏のご参加を頂き、開催されました。従来は総会、講演、懇親会の順でしたが、今回は講演を



常陸太田知道会

一番最初に、一般の方々にも聴講を呼びかけました。これは当知道会の目的の一つ「地域社会に役立つ」に沿うためのものです。

演題は「カンボジア地雷処理に従事して」、講師は特定非営利活動法人「日本地雷処理を支援する会」(JMAS)のカンボジア現地代表園部宏明氏(S35卒)でした。尚、園部氏は2005年まで「アフガニスタン武装・動員解除の国際監視団長」も勤めておられました。

日本は戦後62年を過ぎ、平和と繁栄が続いていますが、世界の中には「戦渦」に巻き込まれたり「戦禍」に苦しんでいる人が大勢います。その「戦禍」の一つに、人を殺さず、手足を吹き飛ばし、苦しんでいる人間を見せ、ダメージを与える「悪魔の兵器」の「地雷」が何百万個も放置され、多くの農民や子供達が現在も被害に遭っています。殊にカンボジアはその数が多く、何ヶ国もが撤去に協力しています。しかし、危険が高く、残留数も多く、手間暇がかかり、気象条件が厳しく、デング熱・マラリア等の危険性、更には現地部族との交渉など想像以上の苦労があるようです。正月にも帰国せず現地で活動し、予算面でも厳しい中、井戸掘り、学校・道路建設などにも貢献しており、JMASは英国に次いでこの成果をあげ、感謝をされています。

今ドキの学苑祭



多くの来場者でにぎわいを見せる

その様な内容を画像で示しながら、1時間半聴講しました。一般の方も40名近く、メモを取りながらの若い女性や「対人地雷全面禁止条約」締結に活躍した藤田幸久参議院議員（昭44卒）の姿も見え、当日18時45分NHKデジタル茨城で講演会の様子が放映されました。

ともすると、戦争は対岸の火事くらいにしか思わず、現在の平和を忘れがちですが、この講演を聴いて、戦争の惨たらしさと平和の有難さに思いを新たにしてもらいたく考え開催しました。

常陸太田知道会会長

昭和35年卒 馬場克秋

水戸市役所知道会

市役所在勤者で構成し、現在144名の会員を数える水戸市役所知道会。毎年恒例の総会が5月22日、水戸駅南口のホテルレイクビュー水戸において約70名の参加のもと盛大に開催されました。

総会は、会長の鯨岡武・教育長（昭36卒）のあいさつで始まり、前年度決算や新年度予算などが承認された後、懇親会へと移りました。和やかに歓談が進む中、今年度の新会員3名（1名欠席）が紹介されると会場からは一段と大きな拍手が沸き、全員であたたかく迎えました。

お酒が進むと、会場内のあちらこちらに歓談の輪が広がり、グラス片手に仕事のことから学生時代の思い出話など、先輩後輩が入り交じり親睦を深め合った夜となりました。中締めの後、名残惜しそうに二次会へと流れていく会員たちを見送りながら、幹事役を終えました。

小川喜実（昭54卒）

平成19年9月8日（土）、「祭りの魔物、覚醒。」をテーマとする第59回学苑祭が開催した。私は卒業以来18年ぶりに学苑祭を訪れた。前日に台風9号が関東上陸し、開催も危ぶまれたが、この日は台風一過の晴天、猛暑であった。

本城橋で、目に飛び込んできたのは、「スズメバチに注意」の看板。前日、本城橋に巨大な巣がぶら下がっていることが判明し、緊急駆除したとのこと。祭りの魔物を覚醒させるには、台風にもスズメバチにも打ち勝たなければならないようである。

校門前のアーチをくぐり、校内へ進むと、たくさんの来校者で賑わっていた。カレー店・かき氷店（知道会館前）、校舎内では、映画、お化け屋敷、迷路など様々な展示が用意され、呼び込み合戦が繰り広げられていた。

私の在校時にはなかったが、投票により三の丸大賞を決めるのだそうだ。観点は次の5つ。「感動を与えたもの」「芸術性」「独創性」「完成度の高さ」「メッセージ性」。まずは展示を見てもらうことが先決だ。

27組の「黄門」は、主人公の警視庁の特別捜査員「光圀はるか」が不正に立ち向かうフィクション映画で、ミトホープ社（ロケ地：学校）などが舞台。ほかにもノートを主人公とした映画や「消えた年金を探せ」と題した宝探しなど、一高生らしいセンスが光っていた。映画機材は8ミリビデオからビデオカメラとパソコンに代わり、生徒間の連絡に携帯が使われるなど、デジタル化が進んでいる。

また、おそろいのTシャツに身を包んだ生徒を何人も見かけた。クラスマッチや学苑祭、歩く会などのため、各クラスでお揃いのTシャツ（クラT）を作っているそうである。

そして、一番の違いは三の丸音楽祭がないことである。私の在校時はバンドブームで、三の丸音楽祭は学苑祭を代表する花形行事だったのだが、今は学苑祭のオープニングの「つどい」（一般非公開）に力が置かれ、ここで映画や劇、ダンスが披露され、みんなで素晴らしい学苑祭を創り上げようという意識を高めるのだそうだ。



生徒達は学苑祭をどう思っているのだろうか？聞いてみた。

「みんなで準備してきたことが、平日きちんとできるかどうかハラハラ・ドキドキ。できたときはとてもうれしい。」（3年生）

「時間や場所など、限られた条件の中で、やりたいことを実現できるようにみんなと工夫・協力できたことがよかった。」（2年生）

「とても楽しい。初日はいろいろハプニングがあって対応に精一杯だったけれど、2日目は他の展示も見て回りたい。」（1年生）

生徒達は、学苑祭を創る者として積極的に関わり、楽しんでいるようである。生徒達の学苑祭に対する思いは、私の在校時と変わらないと思う。第59回学苑祭は、2日間で来校者4,509人を迎え、大盛況のうちに幕を閉じた。恒例の「後の祭り」も覚醒した魔物たち（溢れんばかりのエネルギーを持った生徒達）により大変盛り上がったと聞いている。

（平成元年卒 谷越敦子）

実行委員長に聞く

学苑祭初日を終えた実行委員長の浅妻裕己さん（35組）にお話を伺いました。

今回の特色は？

企画書の事前選考をしっかりとしたので、バランスのよい展示内容になっています。また、生徒の接客などの意識がより高まるよう、喫茶部門に満足度を評価する投票を新たに設けました。

委員長お薦めの展示は？

対応に忙しく今日は展示を見ていません（笑）。準備段階では31組の「乗り物」が男子クラスっぽく、かなり凝っているようでした。

実行委員長になったきっかけと感想は？

3年間の学校生活の集大成として、実行委員長を引き受けることが自分のためになると思い、決断しました。これまで準備にたくさんの時間をかけ、大変なこともあったけれど、その分だけ良かったと思うことがあります。



実行委員長・浅妻さん

総務委員会

19年度「知道会会員の集い」実行委員会を、今までに3回開きました。7月18日に知道会館で行われた第3回実行委員会では、沼尻副会長、栗原副幹事長、北條事務局長も出席され、今年度担当学年（昭和51年卒、昭和61年卒、平成8年卒）と来年度担当学年（昭和52年卒、昭和62年卒、平成9年卒）との間で活発な議論が交わされました。その結果、本号に掲載されているように決定しました。多数の参加を期待しております。来年度は水戸一高130周年の記念の年になりますので、「会員の集い」を盛大に開催することも確認されました。

また、「代議員会」の出席率が悪いので、現在「代議員制度の在り方」についても検討しています。9月12日に知道会館で臨時総務委員会を開き、栗原副幹事長、北條事務局長にも参加していただき、改善案を作成しました。今回は、特に学年代議員に関する案で、本号に掲載しましたので、ご意見をお寄せ下さい。

（昭47卒 木戸 明良）

財務委員会

財務委員会は、年会費の徴収率の向上を担っていますが、今期の状況は、前年と比較して微妙な仕上がりが見込まれています。

委員会として、年会費納入の方法、例えば、大先輩方には基準年齢に達した以降は10,000円で終身会費とするとか、郵便局以外にコンビニ等でも振り込めないかなどを検討してきましたが、まだ検討が続いています。

この他、委員会として、監事の先生方と知道会会計の勘定項目の見直しを進めて来ました。第56期の会計報告には、新しい勘定項目で会計報告が出来るように進めています。

名簿委員会

今回の創立130周年記念の名簿発行に際しまして、多くの会員の皆様に協力をいただき、発行部数及び協賛広告ともに目標を上回り成功のうちに終了することができました。ありがとうございました。

また、会員の皆様の動静に関しましては90%近い判明率になり、より信頼性の高い名簿になったのではないかと自負しており

ます。

会員の皆様には、今後、この名簿を有効に利用されることを切に希望しております。

最後になりましたが、知道会事務局に少々の名簿の在庫がありますので、必要な方はお問い合わせください。

（打越芳男）

親睦委員会

（知道会ゴルフ大会）

去る平成19年6月9日（土）に桂ヶ丘カントリークラブにて第28回のゴルフ大会が開催されました。皆様方のご協力により80名の参加者を数え、滞りなく終了しましたこと、親睦委員会を代表し紙面をお借りしてお礼申し上げます。

さて、今回の大会は土曜日開催ということで若手が参加しやすいよう配慮したわけですが、学年別（参加人数）は以下のとおりです。

30年卒以下（6人）、31～40年卒（35人）、
41～50年卒（19人）、51年卒以上（20人）

次回は水戸一高設立130周年の記念大会となります。恒例の大洗GCでの開催を予定していますが、記念大会にふさわしい企画がございましたら親睦委員会にふるってご提案くださいますようお願い申し上げます。

（知道会親睦旅行）

「日本の歴史と文化を訪ねる旅」知道会親睦旅行は、9月2日～9月3日に参加者30名で実施されました。

一路、高速道路にて北杜市のNHK大河ドラマロケ地「風林火山館」へ。その後、諏訪の浮き城「高島城」見学、諏訪大社参拝の後、宿泊地、蓼科温泉に到着。懇親会では、先輩、同級生、後輩のなつかしい話、カラオケで盛り上がり、最後に校歌を高らかに歌い上げお開きとなりました。隣りの宴席は中国武漢からのお客様で、「世界に競う列強と並び進む帝国の…」の歌詞が少し気になりましたが、まっいいか…

翌日は、信玄に忠誠を誓う血判書が展示されている「生島足島神社」、うだつで有名な「海野宿」を散策、昼食後、川中島古戦場を語り部の会ガイドの案内で見学しました。

（親睦委員会副委員長 鯉淵敏郎 昭49卒記）

【事務局だより】

10月に入ると事務局は超繁忙期に入ります。期末決算、「代議員会議・集い」の準備、「知道会報71号」原稿締めから発送、年会費・130周年募金集計、母校歩く会支援など次々に業務が沸いてきます。

事務局は先輩や会員が気楽に訪れて頂ける場所の提供を心掛けていますが、10月から11月はサービス不足にお叱りを受ける季節です。悪しからずご理解をお願いします。

知道会が永年に存続して行く基盤は、何と云っても「年会費納入率向上」です。最近、未だ若い卒業年代の方から、「年会費納入を止めたい」という電話があった。だれ君も誰さんもと、数名の同級生仲間の名前を申し出てきた。これは了承出来ない！

一方、感激したことがある。昨年亡くなられた先輩の奥様から、「年会費」「130周年寄付複数口」が振り込まれた。一言、「お世話になりました」というお礼の言葉が心に残る。

【募金のお願い】

このことにつきまして引き続きのご支援をおねがいします。

- 募金による母校創立130周年記念事業計画
 - シンボルモニュメント・ブロンズ像制作・設置
 - 「水戸一高年表」制作、体育館緞帳調達、記念CD又はDVD制作、記念式典等学校関連事業
- 目標 3千万円（法人1口1万円、2口以上お願ひします。個人1口5,000円、1口以上お願ひします。）
- 期間 平成20年9月30日まで
- 送金 郵便振替、銀行振込、現金書留
- お問い合わせ 知道会事務局 電話 029-226-3960